



牛の異常産ワクチンを接種しましょう

昨年9月から熊本県内で育成牛を中心に、アカバネウイルス感染が原因と疑われる起立不能が多発しました。これまで、アカバネウイルスは、異常産を起こすウイルスとして知られていましたが、今回の起立不能の発生例で、アカバネウイルスによる新たな疾病の発生が確認されました。

これまでと同様、育成牛・成雌牛へのワクチン接種は、奇形などの異常産の発生予防に加えて起立不能についても予防効果があります。地域全体で予防接種を行い、免疫力を持っている牛が一定の割合以上いると、病原ウイルスの広がりを抑えることとなり、免疫力が低下した牛等も感染しにくくなります。



関節の異常と脊柱の湾曲



神経症状と起立不能を示す子牛

ワクチン接種の注意点

①ワクチン名 牛異常産3種混合ワクチン

②接種時期：4～5月

③対象牛：繁殖を目的に飼養している雌牛

{ 初めて接種する牛、または昨年接種していない牛は4週間隔で2回
昨年接種している牛は1回の接種

不明な点については、下記までお問い合わせください。

熊本県城南家畜保健衛生所

電話 0966-22-3814

熊本県城南地区家畜自衛防疫促進協議会

電話 0966-28-3234

